

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5		
	2	職員の配置数は適切であるか	5		日によっては勤務の休み希望が重なる日等不十分な日もあるが、2階の生活介護事業所の職員と協力体制を組み、入浴介助、送迎等必要時協力し合っている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5		毎朝清掃を実施。活動に応じたスペース作りを行っている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5		職員参加のミーティングにて業務の振り返りを行っている。時間帯の工夫により、広く職員が参加する機会の工夫を行っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5		アンケート調査の結果について要望、意見等把握し、職員間で共有することが出来ている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5		ホームページにて公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5		
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5		
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5		使用する場合としない場合が有。（細かい分析を要する場合、既存のものではしにくい。）
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5		前の月に週単位で季節に応じた翌月の活動プログラムをチームで検討し決めている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5		週単位で様々な活動プログラムを提供している。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	5		計画として個別と集団を分けていない。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5		支援開始前に勤務している職員でミーティングを実施し、業務の内容や活動内容、動きの流れ等確認を行っている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5		業務終了時間が常勤職員と非常勤職員で異なる為、開始前のミーティングで前日の支援の振り返りも兼ねている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5		つなげている。記録として連絡帳もコピーし、保存し残している。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5		併せて日々の支援の中での気づきや変化等、毎日のミーティングで共有、記録している。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5		必要に応じて連携している。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	5		必要時に応じて行っている。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	5		緊急時の連絡、対応は基本的にははじめに保護者に確認してからする事としているが、状態によっては即救急搬送が必要な場合もあるため、その際は連絡体制について事前に個別に確認している。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	2	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	0	5	まだ移行支援を行ったケースがない。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	0	研修の機会があれば参加している。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	5	同一事業所内で、他利用者様(生活介護事業所)との交流を行っているが、今後の課題である。現在、保護者様からの要望としてはない状況。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	5	0	全国重症児デイサービスネットワークに加入し、随時研修や会議等に参加している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5		送迎時等保護者と顔を合わせる際は必ず、日頃の状況を伝え、話す機会を持っている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	1	4	保護者を指導するような立場での支援を行っていないため、レスパイトケアに重点をおいて支援を行っている。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5		行っている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5		同意を得ている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5		定期的以外に、保護者から要望がある際には相談機会を作り、必要に応じて他支援機関につなぐなど、連絡調整も行っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		5	企画していたが、予定調整できず未実施。今後ないようを検討し、実施する方向で考えたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5		必要に応じて苦情解決委員会等でつづきを踏み、速やかに解決するよう取り組んでいる。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	月ごとに活動予定を作成し、個別に配布、お知らせをしている。また、連絡事項については個別に連絡帳に記載している。施設全体として広報誌を作成し、配布している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	5	0	名前等個人情報が記載された書類を破棄する場合は全てシュレッダー処理している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	0	年1回、地域住民を招待するお祭りを開催している。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5	0	周知方法について検討していきたい。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	0	年2回、災害を想定した避難訓練を実施している。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	5	0	アセスメントの実施はもちろん、利用申込書類にも記載の欄あり、詳細に状況確認を行っている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	0	食事提供は行っていない。アレルギーについては保護者からのアセスメントにて確認。対応はその都度必要時行っている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5		その都度事例について共有し再発防止の努めている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5		施設で研修を開催している。外部の研修にも参加している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5		バギー上で姿勢保持のためベルトを装着する場合、入浴時の転落防止の為、ストレッチャー上で安全ベルトを使用する場合等、事前に保護者への説明を行い、同意を得た上で児童発達支援計画に記載している。